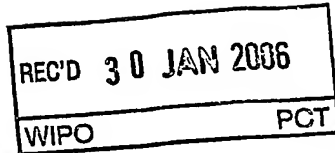


特許協力条約

PCT



特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
[PCT 36 条及び PCT 規則 70]

出願人又は代理人 の書類記号 030803PCT	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/014229	国際出願日 (日.月.年) 29.09.2004	優先日 (日.月.年) 30.09.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G11B7/0045 (2006.01), G11B7/125 (2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) パイオニア株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 5 ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 28.04.2005	国際予備審査報告を作成した日 16.01.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 五賀 昭一	5D 9368
電話番号 03-3581-1101 内線 3551		

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 _____ 1-29 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 2, 8-12, 15 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 _____ 1, 3-7, 13-14 _____ 項*、28.04.2005 付かで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 _____ 1/14-14/14 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 1-15

理由:

☐ この国際出願又は請求の範囲 は、国際予備審査をすることを要しない
次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 の
記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 が、明細書による十分な
裏付けを欠くため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 請求の範囲 1-15 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。
出願人は所定の期間内に、

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ 実施細則の附属書Cに定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ PCT規則13の3.1(a)又は(b)及び13の3.2に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。

☐ 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

請求の範囲

- [1] (補正後) 複数の記録層を備えた情報記録媒体に記録用のレーザ光を照射することによって情報を記録するための情報記録装置であって、

前記複数の記録層のうち、前記情報を記録する予定の一の記録層に対して好適な前記レーザ光の好適照射状態を、(i) 前記複数の記録層のうち、他の記録層の記録状態を判別し、当該判別された記録状態と、(i i) 前記情報を記録する記録速度とに応じて設定する設定手段と、

該設定された好適照射状態で前記レーザ光を前記一の記録層に対して照射する照射手段と

を備えたことを特徴とする情報記録装置。

- [2] 前記設定手段は、前記好適照射状態として、前記一の記録層に対して好適である前記レーザ光のパルス幅、パルス強度、パルス形状及び記録ストラテジのうち少なくとも一つを、設定することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の情報記録装置。

- [3] (補正後) 前記記録状態として、前記他の記録層が未記録であるか又は記録済みであるかを判別する判別手段を更に備えており、

前記設定手段は、前記判別手段による判別結果に応じて、前記好適照射状態を設定することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の情報記録装置。

- [4] (補正後) 前記判別手段は、前記一の記録層に前記情報が記録されるのに先立って、前記他の記録層における記録領域をまとめて走査することで、所定の領域単位毎に、前記他の記録層が未記録であるか又は記録済みであるかを判別することを特徴とする請求の範囲第3項に記載の情報記録装置。

- [5] (補正後) 前記判別手段は、前記他の記録層における記録領域について所定の領域単位毎に、前記他の記録層が未記録であるか又は記録済みであることを示すテーブル情報を参照することで、前記他の記録層が未記録であるか又は記録済みであることを前記所定の領域単位毎に判別することを特徴とする請求の範囲第3項に記載の情報記録装置。

- [6] (補正後) 前記複数の記録層の少なくとも一つは、前記好適照射状態を、(i) 前記他の記録層における記録状態と、(i i) 前記記録速度とに応じて規定する好適照射状態情報が記録される管理情報領域を有し、

前記管理情報領域から前記好適照射状態情報を読み込む第1読込手段を更に備えており、

前記設定手段は、前記読込まれた好適照射状態情報に基づいて、前記好適照射状態を設定することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の情報記録装置。

- [7] (補正後) 前記他の記録層が未記録である未記録領域と前記他の記録層が記録済みである記録済み領域との夫々で、試し書き用データを前記一の記録層に試し書きするように前記照射手段を制御する試し書き制御手段と、

前記試し書きが行われた未記録領域及び記録済み領域における前記一の記録層から、前記試し書き用データを読み込む第2読込手段と
を更に備えており、

前記設定手段は、前記読込まれた試し書き用データに基づいて、前記好適照射状態を設定することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の情報記録装置。

- [8] 前記設定手段により設定された前記好適照射状態を示す好適照射状態情報を格納する第1記憶手段を更に備えたことを特徴とする請求の範囲第7項に記載の情報記録装置。

- [9] 前記複数の記録層の少なくとも一つは、前記好適照射状態を、前記他の記録層が未記録である場合及び記録済みである場合のうち一方の場合のみについて規定する好適照射状態情報が記録される管理情報領域を有し、

前記管理情報領域から前記好適照射状態情報を読み込む第3読込手段を更に備えており、

前記設定手段は、前記一方の場合については、前記読込まれた好適照射状態情報に基づいて、前記好適照射状態を設定し、前記未記録である場合及び前記記録済みである場合のうち他方の場合については、(I) 前記読込まれた好適照射状態情報及び (I I) 前記他方についての好適照射状態と前記一方の場合について規定された好適照射状態との相対的な関係を示す関係情報に基づいて、前記好適照射状態を設定することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の情報記録装置。

- [10] 前記好適照射状態は、前記レーザ光に係る所定パラメータの値として示されており

BEST AVAILABLE COPY

前記関係情報は、前記一方の場合における前記所定パラメータの値に対する、前記他方の場合における前記所定パラメータの値の比又は差を示す情報を含むことを特徴とする請求の範囲第9項に記載の情報記録装置。

[11] 前記関係情報は、前記好適照射状態情報と共に前記管理情報領域内に記録されていることを特徴とする請求の範囲第9項に記載の情報記録装置。

[12] 前記関係情報を格納する第2記憶手段を更に備えており、
前記設定手段は、前記他方の場合については、前記読込まれた好適照射状態情報及び前記記憶手段に格納されている関係情報に基づいて、前記好適照射状態を設定することを特徴とする請求の範囲第9項に記載の情報記録装置。

[13] (補正後) 複数の記録層を備えた情報記録媒体に記録用のレーザ光を照射することによって情報を記録するための情報記録方法であって、

前記複数の記録層のうち、前記情報を記録する予定の一の記録層に対して好適な前記レーザ光の好適照射状態を、(i) 前記複数の記録層のうち、他の記録層の記録状態を判別し、当該判別された記録状態と、(i i) 前記情報を記録する記録速度とに応じて設定する設定工程と、

該設定された好適照射状態で前記レーザ光を前記一の記録層に対して照射する照射工程と

を備えたことを特徴とする情報記録方法。

[14] (補正後) 記録用のレーザ光を照射することによって情報を記録するための複数の記録層を備えており、

前記複数の記録層の少なくとも一つは、前記複数の記録層のうち、前記情報を記録する予定の一の記録層に対して好適である前記レーザ光の好適照射状態を、(i) 前記複数の記録層のうち、他の記録層における記録状態と、(i i) 前記情報を記録する記録速度とに応じて規定する好適照射状態情報が記録される管理情報領域を有することを特徴とする情報記録媒体。

[15] 記録用のレーザ光を照射することによって情報を記録するための複数の記録層を備えており、

BEST AVAILABLE COPY

前記複数の記録層のうち前記情報を記録する予定の一の記録層に対して好適である前記レーザ光の好適照射状態を求めるために、前記複数の記録層のうち他の記録層に前記情報が記録されている第1試書領域と該他の記録層に前記情報が記録

BEST AVAILABLE COPY